

次号予告

特集 食糧問題とOR

- 食の安全と安心の本質とは何か大野卓壘 (大阪府調理師団体連合会)
農業適正使用ナビゲーションシステム
—安全・安心な農業生産を支援する—南石晃明 (中央農業総合研究センター)
食環境づくりと公衆栄養活動の発展
—BSE・鳥インフルエンザ等の食肉に関する問題を中心に—野口孝則 (神戸学院大学)
遺伝子組み換え作物と途上国社会山口富子 (農業生物資源研究所)
農業経営における数理計画問題伊藤 健 (東北大学)
農業生産システムの環境影響評価—ORとLCA—林 清忠 (中央農業総合研究センター)
農業生産におけるフィールドサーバの活用平藤雅之 (中央農業総合研究センター)
「人の輪と集落の和」で農地を守り「儲ける農業」にチャレンジ福西義幸 (酒人ふぁ〜む)
情報戦略からブランド戦略へ—日清食品を例として—能勢豊一 (大阪工業大学)

編集後記

●いまや新車の7割以上に搭載されているカーナビゲーションシステムですが、第1号は1980年代初めに完成しました。当時はアナログ地図を利用しており、実際の走行位置とのズレを補正できなかったことから、開発各社はデジタル地図の作成に巨額の予算を投入しました。GPSナビ搭載車が登場し、精度が飛躍的に高まったのは1990年のことです。さらにインターネット接続機能が搭載され始めたのは1990年代後半のことで、これにより道路交通情報を加味した経路誘導が可能となりました。周辺施設情報も最新のものが提供されるようになり、今後はインターネットの双方向性を活かしてドライバの嗜好を反映した情報提供サービス

スなども次々と登場することでしょう。

●情報のパーソナライゼーションは、ドライバ向けに限らず、歩行者向けナビシステムでも数多く研究されていますが、これを実現するにはドライバや歩行者の個人情報の取得が必須です。利用者側としてみれば、自分の居場所や利用施設などをサービス提供者に常に管理されている訳ですから、そのことに対する抵抗感を上回るような魅力的なサービスを考案することがサービス提供者側には求められるでしょう。そのようなサービスが当たり前になる時代には、地図情報の提供方法も更に進化しているかも知れませんね。

(高橋彰子)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森真理雄(東京農工大学)

委員 池上敦子(成蹊大学), 大澤義明(筑波大学), 大村弘之(日本電信電話㈱), 岡田 勇(創価大学), 岡野裕之(日本アイ・ビー・エム㈱), 住田 潮(筑波大学), 高橋一喜(東京ガス㈱), 高橋彰子(㈱NTTデータ), 田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ㈱), 土屋利明(日本電信電話㈱), 所 健一(財団法人電力中央研究所), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(㈱日本スポーツ振興センター), 藤本 衡(東京電機大学), 松村良平(東京工業大学), 三浦英俊(明海大学), 村井雅彦(㈱東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成18年4月号 第51巻 第4号 通巻544号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森 真理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ